



地域共育インターンシップ2025夏期を実施

8/25～9/8の2週間、全国から集まった6名の大学生が下川の地域共育を学ぶインターンシップを実施しました。小中高校の授業に出向き子どもたちと交流し、学校、カフェ、森やお祭りなど様々な場所で子どもの居場所づくりを行いました。報告会では、高校生の長期インターンシップ実施や中学校の1週間キャリアウィークなどの提案をしてくれました。



【参加大学生】

長谷部 香帆 北海道教育大学 旭川校 1年【右前】
アビガイル サルマ マーシャンティ 立命館アジア太平洋大学 3年【中央前】
安藤成美 北海道大学 法学部 2年【左前】
大野倅生 旭川市立大学 経済学部 2年【左後】
星島祥吾 東京都市大学 環境学部 4年【中央後】
曾田浄英 立命館アジア太平洋大学 1年【右後】

下川の魅力

- ・下川の人ツアー
- ・下川の森ツアー
- ・下川の町ツアー

居場所づくり

- ・学習スペース@中学校図書室
- ・みくわウィーク@美桑が丘
- ・うどんまつり交流スペース
- ・10代スペース@OTOCOFFEE

学校教育

- ・下川中学校 キャリア教育
- ・下川小学校 自由研究発表会
- ・一日防災教室
- ・下川商業高校 課題研究

9/25-26 学習スペース @中学校図書室



テスト前の自習スペースとして、社会教育センターの皆さんと行いました。

9/27-28 みくわウィーク @美桑が丘



森の生活で実施するみくわウィークに参加。最終日には森の中にターザンロープが完成!

8/30 うどんまつり 交流スペース



大学生お土産ガチャ、国際交流ブース等に多様な年代の方が立ち寄ってくださいました

9/6 10代スペース @OTOCOFFEE



下川産いちごミルク、ソーダが好評!ボードゲームなどでたくさん交流が生まれました

9/5 活動報告会を行いました。14名が参加し、6名の2週間の学びに耳を傾けました。報告会での学生の意見を紹介します。

下川の魅力は!

- ①住民の活気があって、面白いことに挑戦する大人がたくさんいるところ
- ②豊かな自然とSDGsのまちづくり
- ③様々な側面での教育へのつながり

居場所づくりで大切だと思ったことは!

- ①人に寄り添うこと
- ②自由を大切にすること
- ③最終的に居場所を支える一人一人が居場所になること

下川の学校教育の魅力は!

- ①幼小中高の連携
- ②地元を知って愛着を持つ機会が豊富
- ③先生と子どものフラットな関係性



小中一貫だより No.2

1日防災学校

9/3 小5・6、中2・3合同で1日防災学校を行いました。

AED操作



段ボールトイレ作成



土のう作成



簡易ベット組立



AEDは下川消防署から、簡易ベットの組立を下川町役場町民生活課から、段ボールトイレは大学生インターン生から、土のうは谷組のみなさんから教えていただきました。小中学生縦割りの班をつくり、2つの体験を協力しながら行いました。

後半は、防災マネージャーから「下川町で起こりうる災害」について学び、縦割りグループに分かれて「断水になって何に困った? どうやって工夫したり、協力し合った?」「災害に備えて、普段から必要な備えや心がけは?」の2つを話し合いました。各班からは、「飲み水がなくて、名寄や士別に行った」「トイレが流れないので、雪解け水を使った」「洗濯ができなくて、町外のコインランドリーに行ったり、親戚の家をお願いした」などの経験や工夫が共有され、「災害に備えた備え」では、「水を備蓄しておく」「家族と話し合っ集合場所を決める」「非常用持ち出しバックを作っておく」などの意見がありました。



1日防災学校では他にも...

- ・9/2 中1年生「着衣水泳」をB&Gプールにて教育委員会による実施
 - ・9/3 小3年生「役場の仕事と防災」を役場、小4年生「消防の仕事と防災」を消防署より実施
 - ・9/4 小1・2年生「防犯・防災講座」を名寄警察署により行いました。
- 昨年度から、小中一貫の取り組みの一つとして合同による1日防災学校を行っています。